

令和7年度 第2学期終業式 講話

冬季休業期間を迎えることになりますので、第2学期の終業式を執り行います。

本学期は、学校全体で関わる体育大会、白魚祭（文化祭）に加え、創立60周年記念式典が催されました。その式典の前週には美術部員7人が県高校美術展に作品を出展し、また式典の翌々日には女子生徒の有志7人が県高校駅伝競走大会に出場する等、慌ただしい中にも本校の足跡を残す取組が見られました。

また、本学期の開始式では、創立60周年記念式典をはじめとする様々な記念行事が執り行われる中で、校訓である誠実・自律・創造に加えて中国の思想家である老子が唱えた「上善は水の如し」という言葉を心に留めておきたい旨を伝えました。この言葉について、皆さんの中でどの程度意識されていたかは分かりませんが、学校行事の様々な局面において、本年度の当初に比べると柔軟性や謙虚さを示しながら、蓄積されたエネルギーを注ぐ場面が多く感じられるようになり、行動の変容が見られたのではないかと捉えております。

さて、本学期の後半では、生徒はもとより、教職員及び保護者や学校運営協議会委員の方々を対象に、学校評価に係るアンケートを実施しました。その結果については、学校運営協議会等を経て、追って公表したいと考えております。このうち、生徒の回答結果は、概ね昨年度と同様の傾向が見られます。こうした中で、保護者の回答を重ねてみると、「学校の授業で学力の伸びを実感できる。」という質問に対しては、現2年生保護者の1年次と2年次の数値を比べると、大きな変化が見られることが分かります。このことから、現2年生の保護者の方々は、御子息の普段の学習に対する姿勢や日常生活における対応力に成長を感じられていると推測しているところですが、2年生の生徒の皆さんは現在の自分自身の状況をどのように捉えていますか。

成長という語について、国語辞書に「育って大きくなること、成熟すること」等に加え、「心身ともにおとなになること」と記されています。人生100年時代を生き抜いていくためには、精神的な成熟や思慮分別を備えた主体として常に成長を遂げていくことが求められます。12月2日（火）に実施された「ライフプランニング授業」の終わりに、講師の先生が「マイルストーン（milestone）」という語を用いて、人生設計の在り方について示されました。新しい年の幕開けに向け、各人が、新年の目標及びそれを完遂するための節目の設定を行い、より一層主体的に学校生活に臨んでいくことを期待します。